



海外標準化動向調査(7月)

令和6年度エネルギー需給構造高度化基準認証推進事業費(我が国の国際標準化戦略を強化するための体制構築)
2024年7月1日

一般財団法人日本規格協会

ピックアップ：メタバーズ（関連ニュース番号11）（1/2）



トピック	欧州委員会がWeb4.0にむけた10のアクションを計画および推進。 ※つづき
推進組織	European Commission
内容	ポイント - EUの国民が安全かつ自信を持って仮想世界を利用できること、EUの企業が世界をリードするアプリケーションを開発できるようにすることを目的とする戦略が公開された。国民とスキル、産業エコシステム、社会進歩の促進等をキーワードに10のアクションを計画。 背景 2023年7月11日には、欧州市民が安全かつ安心して仮想世界を利用できるようにし、欧州企業が世界をリードするアプリケーションを開発できるようにすることを目的としたバーチャルワールドとWeb4.0に関する新戦略を採択した。 概要 2023年7月11日、EU市民、企業、行政機関にとってオープンで安全、信頼でき、公正かつ包括的なデジタル環境を確保するために、Web 4.0と仮想世界に関する新しい戦略を採用した。戦略の4つの柱は以下のとおり。 1.人々に権限を与え、スキルを強化する 2023年末までに、欧州委員会は市民パネルが提唱する仮想世界に関する指針を推進し、2024年第1四半期までに「市民ツールボックス」を通じて一般市民向けのガイダンスを作成する。 2.ビジネス:欧州の Web 4.0 産業エコシステムをサポートする。 欧州委員会は、イノベーションを促進するために、EU のクリエイターとメディア企業が新しい作成ツールをテストし、開発者と産業ユーザーをまとめ、加盟国と協力して Web 4.0 と仮想世界向けの規制サンドボックスを開発することをサポートする。 3.社会の進歩と仮想公共サービスを支援し、仮想世界が提供できる機会を活用する。 欧州委員会は、都市計画と管理に使用できる没入型都市環境「CitiVerse」と、臨床上の決定と個人的な治療をサポートするために人体を再現する欧州仮想人間ツインという2つの新しい公共旗艦プロジェクトを立ち上げる。 4.オープンで相互運用可能な仮想世界と Web 4.0 のグローバル標準を策定 少数の大手企業に支配されないようにEU のビジョンと価値観に沿って Web 4.0 標準を推進する。

出所:European Commissionページなど公開情報等に基づきJSAグループ作成

ピックアップ：メタバーズ（関連ニュース番号11）（2/2）



トピック

推進組織

内容

欧州委員会がWeb4.0にむけた10のアクションを計画および推進。

European Commission

欧州委員会は2023年11月21日には、国民とスキル、産業エコシステム、社会進歩の促進等をキーワードに10のアクションを計画したうえで、デジタルスキルへの4200万ユーロの投資を呼びかけた。

また、2024年2月12日、パイロットプロジェクトの入札募集を開始した。
（関連ニュース番号11参照）このパイロット・プロジェクトは、EUの政策立案者や利害関係者に、最先端の仮想世界やWeb4.0技術の発展から生じる課題やガバナンスの必要性を伝えるとともに、政策立案者、市民社会、民間企業、技術コミュニティとのグローバル・ガバナンスに関する議論を促進することを目的としている。

【補足】
※Web4.0とは

- 高度な人工知能とアンビエント知能、モノのインターネット、信頼できるブロックチェーン トランザクション、仮想世界とXR機能を使用することで、デジタルと現実のオブジェクトと環境が完全に統合・相互に通信し、真に直観的で没入型の体験が可能な物理的なものとデジタルなものがシームレスに融合させた世界

Web4.0に対して欧州委員会が10のアクションを推進

類別	No	10のアクション ※1
国民とスキル	1	女性を含むデジタルコンテンツやオーディオビジュアルコンテンツのスキル開発を支援(2024年)し、EU加盟国がEU加盟国以外の地域のプロフェッショナルにとって魅力的な場所になるようにする(2023年Q3) ⇒デジタルスキル開発に対する募集を2023年11月に開始(4,200万ユーロの投資)※2
	2	子どもの健康と福祉への影響に関する研究を含めHorizon Europeを通じて、人々の健康と幸福に対する仮想世界の影響に関する研究を支援する(2023年Q4)
	3	子供向けインターネットの改善戦略に基づき、一般向けの仮想世界ツールボックス開発と同様に、青少年向けにもリソースを投入する(2024年Q1)
Web4.0産業エコシステム支援	4	EU加盟国と協議し、産業と技術のロードマップを策定するための新たなEUパートナーシップの立ち上げを検討する(2024年Q1)
	5	仮想世界における新しいビジネスモデルをテストすることを支援する(2024年Q1)。仮想世界の開発者と産業ユース間のマッチングを促進する(2024年Q1)。新しい仮想世界ソリューションの導入を促進(2023年Q4)
	6	オープンで相互運用可能な仮想世界のための標準開発を支援する(2023年Q4)
社会進歩の促進、公共サービス改善	7	Horizon EuropeおよびDigital Europeプログラムの下で、スマートで持続可能な都市とコミュニティのためのCitiVerse、ヨーロッパ・バーチャル・ヒューマン・ツインの開発を支援する(2023年Q4) ⇒CitiVerseの取り組みを2024年1月に公開。データ、AI等を使用し、ヨーロッパ全土のデジタルツイン(リアルタイムシミュレーション含む)を実現する。これはEDICというEUの複数の国を跨いだプロジェクトを支援するコンソーシアムに沿って実施される※3
ガバナンス	8	EU加盟国を集め、専門家グループを通じて、仮想世界の開発とWeb4.0へのより広範な技術的移行に関する共通のアプローチとベストプラクティスを共有する(2023年Q4)
	9	既存のインターネットガバナンスの権限を超えて、バーチャルワールドとWeb4.0に取り組むために、技術的なマルチステークホルダーフォーラムの創設を支援する(2024年Q1)
	10	EU加盟国および利害関係者とともに、すべての産業エコシステムにおける仮想世界の発展をモニターするための構造化されたアプローチを開始する(2024年Q1)

出所:総務省ページ(https://www.soumu.go.jp/main_content/000928427.pdf)など公開情報等に基づきJSAグループ作成

【メタバース】関連記事詳細（1/12）

番号	地域・国	情報記事・タイトル	発行日	要旨	情報源 (機関・団体名／URL)	
1-1	国際	IEC/TC100/ WG12 (メタバース用の マルチメディアシ ステムおよび機 器)	2024/05/24	TC100（オーディオ、ビデオ、マルチメディアシステムおよび機器）では、消費者向けおよびプロフェッショナル向け機器の性能仕様、測定方法、システムへの適用、および他のシステムまたは機器との相互運用性に関する規格開発が行われている。 日本が事務局を務め、Pメンバー22か国、Oメンバー25か国。日本の国内審議団体は、一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）が務めている。 2022年10月のTC100総会において、TC100におけるメタバースに関する規格開発を検討するために、TC100直下にワーキンググループ・WG12（メタバース用のマルチメディアシステムおよび機器）が設立された。 2023年5月の岡山での会合において第1回のWG12会合が開催され、IEC、ISO、JTC1、ITU-TおよびCTAならびにMetaverse Standard Forumでのメタバース関連の動向の紹介の後、WG12での今後の活動内容が議論された。議論の結果、メタバースの定義・分類を検討するためのPWI（Preliminary Work Item）およびメタバースシステム・機器に関する標準化の観点からのギャップ分析を行うPWIの設立が合意された。 • PWI 100-49 「TC100におけるマルチメディア機器のメタバース概念と標準化分野」 • PWI TR 100-58 「メタバースの定義と分類」 • PWI TR 100-59 「メタバースシステムと機器のギャップ分析」	IEC	https://www.iec.ch/dyn/www/f?p=103:14:607170777621143:::FSP_ORG_ID,FSP_LANG_ID:42313,25
1-2	国際	ITU Focus Group on metaverse	2024/05/24	2022年12月16日、TSAGの下にメタバースに関するITUフォーカス・グループが設立された。このグループは、マルチメディアやネットワークの最適化から、デジタル通貨、モノのインターネット、デジタル・ツイン、環境持続可能性までの分野における基本的な実現技術を特定するため、メタバースの技術的要件を分析する。 韓国電子通信研究院が議長国を担当している。 フォーカス グループのこれまでの成果物については、こちらで公表されている。	ITU	https://www.itu.int/en/ITU-T/focusgroups/mv/Pages/default.aspx

【メタバース】関連記事詳細（2/12）

番号	地域・国	情報記事・タイトル	発行日	要旨	情報源 (機関・団体名／URL)
2	イギリス	「メタバースに関するメディアリテラシーについて」のペーパーを公表	2023/06/28	Ofcom(英国情報通信庁)は、子供と大人のオンラインスキル、知識、理解を向上させることを目的としたMaking Sense of Media プログラムのディスカッションペーパーとして、「メタバースに関するメディアリテラシーについて」を公表。メタバースに関わる考慮事項等(※下記に一部を抜粋)が記載されている。 • 安心してメタバースを利用するためのユーザーの身元確認 • 不適切な行為（ハラスメント、虐待等）を報告する際に重要となるインタラクションの記録の保持 • ユーザーが作成したコンテンツの所有権 • 個人データ、プライバシー、データ保護するためのGDPRに準拠した対応やオプトアウト等	Office of Communication s(Ofcom:英国情報通信庁) https://www.ofcom.gov.uk/consult/condocs/future-tech-and-media-literacy/future-tech-and-media-literacy.pdf
3	中国	メタバース産業の革新的発展に向けた3カ年行動計画	2023/08/29	メタバース産業の革新的発展に向けた3カ年行動計画（2023-2025年）を公開。 5つの優先課題について14の行動指針をかかげている。現状では法規制に関する言及は見られない。 (1) 高度なメタバース技術と産業システムの構築 1.キーテクノロジーの統合と革新を強化する 2.メタバース製品の供給を充実させる 3.産業エコシステムの相乗的な発展を構築する (2) 3次元でインタラクティブな産業メタバースの育成 4.主要産業プロセスのメタバース化の促進を模索する 5.主要産業における産業メタバースの普及を加速する 6.産業メタバースの革新的なアプリケーションモデルを模索する (3) 没入的でインタラクティブなデジタルライフアプリケーションの創出 7.没入的でインタラクティブな消費生活シナリオを普及させる 8.虚実融合の公共サービスシナリオを創出する 9.スマートで安全な災害救助シナリオを支援する (4) 体系的で完全な産業支援の構築 10.産業標準規格の体系を改善する 11.イノベーション支援能力を強化する 12.一流のインフラを構築する (5) 安全で信頼できる産業統治システムの構築 13.メタバースの協調的な統治システムを整備する 14.安全保障能力の構築を強化する	中国政府 https://www.miit.gov.cn/zwgk/zcwj/wjfb/tz/art/e715a9d4611742d5a5f7a4f36ea74974.html

【メタバース】関連記事詳細（3/12）

番号	地域・国	情報記事・タイトル	発行日	要旨	情報源 (機関・団体名／URL)	
5	イギリス	オンライン安全法が成立	2023/10/26	2023年10月にオンライン安全法が成立。同法は、幅広いオンライン・サービスを運営する企業に対し、オンライン上の人々、特に子どもたちの安全を守る法的責任を負わせるものである。これらの企業は、危害のリスクを評価し、それに対処する措置を講じることで、英国のユーザーを保護する新たな義務を負う。英国のユーザーを多数抱える、あるいは英国市場をターゲットとするすべての対象サービスは、その拠点がどこにあると、新規規則の対象となる。 また、メタバースに対しても適用される予定で検討が進められている。違法コンテンツに対するリスク管理の義務等を提供者に課し、ユーザーに安全なオンラインサービスを提供することを目的としている。Ofcomにより、具体的な順守すべき義務事項に関わるガイダンスの策定が進められている。 【適用対象】 • ユーザー間のコミュニケーション、ユーザー生成コンテンツを許可するサービス • 検索サービス • ポルノプロバイダー 規制対象となるコンテンツの例 • 児童の性的虐待、過激な性的暴力 • 自殺の助長 • テロリズム、違法薬物や武器の販売 等	Ofcom	https://hansard.parliament.uk/Lords/2023-07-12/debates/166C8F0B-D314-4AF6-A7FB-341766931E1F/OnlineSafetyBill
6	アルメニア	FastexverseがSiGMAスタンドをメタバースへ	2023/11/06	アルメニアのソフトウェア開発会社 SoftConstruct により運営されているメタバースプラットフォームであるFastexverseは、11月13日から17日までマルタで開催されるSiGMAで、直接参加者とバーチャル参加者の両方がネットワークを構築し、新しいビジネスチャンスを見つけることができる別のミートアップを発表した。 FastexverseのSiGMAブースには、世界中どこからでもメタバースを通じて参加することができる。このバーチャルイベントは、革新的なテクノロジーのデモンストレーション、専門家による講演、ネットワーキングの機会など、没入感のある体験を約束してくれる。	Fastexverse	https://www.fastexverse.com/newsroom/j/fastexverse-concludes-2023-with-sigma-europe-and-simultaneous-presence-in-metaverse

【メタバース】関連記事詳細（4/12）

番号	地域・国	情報記事・タイトル	発行日	要旨	情報源 (機関・団体名／URL)
7	アメリカ	ベガス・ミーツ・ドバイとCEOクラブ・ネットワーク・ドバイが戦略的パートナーシップを締結	2023/11/28	ビジネスネットワーキングとバーチャルリアリティを融合させた画期的な開発として、ビジネスと文化の架け橋として有名なVIP Mindsのプロジェクトであるベガス・ミーツ・ドバイは、CEOクラブ・ネットワーク・ドバイとの戦略的パートナーシップを発表する。このコラボレーションは、22,000人のCEOからなる驚くべきネットワークを結びつけるだけでなく、革新的なベガス・ミーツ・ドバイ・メタバース・ワールドへの扉を開くものでもある。 Vegas Meets DubaiとCEO Clubs Network Dubaiの戦略的提携は、企業エンゲージメントの未来への大胆な飛躍を意味する。この2つの影響力のある団体が手を組むことで、CEOがつながり、協力し、新たな機会を探ることになる。 この戦略的パートナーシップにより、22,000人のCEOのネットワークは、Vegas Meets Dubai Metaverse Worldに独占的にアクセスできるようになる。この最先端のバーチャル環境により、CEOは地理的な場所に関係なく、ダイナミックで視覚的に美しい環境でつながり、交流し、参加することができる。	Vegas Meets Dubai https://www.news-wire.com/news/vegas-meets-dubai-and-ceo-clubs-network-dubai-forge-strategic-22184232
8	韓国	メタバース倫理原則8大実践原則を具体化したメタバース実践倫理を発表	2023/12/26	科学技術情報通信部(長官イ・ジョンホ、以下「科技通信部」)は12月26日(火)、社会関係閣僚会議でメタバース倫理原則8大実践原則を具体化した「メタバース実践倫理」を発表したと明らかにした。科技通信部は、メタバース生態系で活動する供給・利用・創作者と直接・間接的に影響を受ける利害関係者がメタバース内の倫理的問題の状況で簡単に適用したり、活用できる具体的で細分化されたガイドであるメタバース実践倫理を設けて提示した。 メタバースに関わる基本原則およびサプライヤー、クリエイター、ユーザーに対して倫理原則を発表。基本原則を含め、上記、ステークホルダーそれぞれに対して、8つの観点（真正性、自立性、互恵性、プライバシーの尊重、公平性、個人情報保護、包括性、責任）で実践倫理が定義されている。基本原則40条例と各ステークホルダーに対して合計120条例を定義。	韓国政府 https://docs.msit.go.kr/SynapseDocViewServer/viewer/doc.html?key=41c123c00ac44bb39cefaa23f7741fcd&convType=html&convLocale=ko_KR&contextPath=/SynapseDocViewServer/

【メタバース】関連記事詳細（5/12）

番号	地域・国	情報記事・タイトル	発行日	要旨	情報源 (機関・団体名／URL)
9	欧州	メタバースとAIの競争に関する情報提供要請	2024/01/09	欧州委員会は、仮想世界と生成型人工知能（AI）における競争に関する2件の寄稿募集を開始し、大手デジタル企業数社に情報提供の要請を送付した。 仮想空間と生成AIに関する意見を募集（期限：2024年3月）。投稿された意見を踏まえたワークショップを2024年第2四半期に開催予定。 仮想空間に関する質問項目） • 仮想空間市場の参入障壁、主要プレイヤー • 今後5～10年の仮想空間市場の発展に最も関連性があると思うデータ収益化モデル • 仮想空間のプラットフォームや技術、サービスへの標準化団体や業界団体、企業グループによって作成されたオープンな標準規格／プロトコルの組み込み さらに、欧州委員会は、デジタル市場の大手企業とジェネレーティブAIの開発者および提供者との間で締結された協定の一部についても調査している。欧州委員会は、こうした提携が市場の力学に与える影響を調査している。 また、欧州委員会は、マイクロソフトによるOpenAIへの投資が、EU合併規則に基づく審査対象となり得るかどうかを確認している。	European Commission https://ec.europa.eu/communication/presscorner/detail/en/ip_24_85
10	中国	中国は、未来型産業の技術革新、産業育成、安全管理を支援するとの政府指針を発表	2024/01/29	工業情報化部など6省庁が発表した指針によると、2025年までに未来産業のインキュベーターとパイロットゾーンを建設し、主要分野のコア技術約100種でブレークスルーを達成する必要がある。 未来産業とは、メタバース、ヒューマノイドロボット、ブレイン・コンピューター・インターフェイス、量子情報など、先端技術と融合した新産業を指す。 同ガイドラインは、製造、情報、材料、エネルギー、宇宙、健康など6つの主要分野に特に焦点を当て、未来産業のための特徴的な製品の開発、応用シナリオの充実、産業支援システムの最適化に取り組むよう求めている。 また、先端技術成果の応用を推進するため、最先端技術促進カタログを発行する必要があるとしている。	中国政府 https://english.www.gov.cn/news/202401/29/content_WS65b7a399c6d0868f4e8e39a1.html

【メタバース】関連記事詳細（6/12）

番号	地域・国	情報記事・タイトル	発行日	要旨	情報源 (機関・団体名／URL)
11	欧州	仮想世界とWeb 4.0への移行を目的としたパイロットプロジェクトの入札の呼びかけを開始	2024/02/12	欧州委員会は2024年2月12日、パイロットプロジェクトの入札募集を開始した。このパイロット・プロジェクトは、EUの政策立案者や利害関係者に、最先端の仮想世界やWeb4.0技術の発展から生じる課題やガバナンスの必要性を伝えるとともに、政策立案者、市民社会、民間企業、技術コミュニティとのグローバル・ガバナンスに関する議論を促進することを目的としている。 同戦略の政策措置の一つには、仮想世界とWeb4.0のオープンで強固なグローバル・ガバナンスの促進が含まれている。欧州委員会の各サービスは、このようなガバナンスの将来的なアーキテクチャーに関する具体的な議論を開始するため、世界中のインターネット・ガバナンスの関係者に関与する任務を負っている。 このプロセスでは、以下を目指す： 1.仮想世界におけるインターネット標準化の制度的要件 2.そのような標準化から生まれる最終的な技術的管理の必要性； 3.Web4.0への適切な価値観主導の世界的移行に必要な包括的政策論議。 また、グローバル・仮想世界のガバナンスを促進し、インターネット・ガバナンスのマルチステークホルダー・モデルとの統合を確実にする。 仮想世界とWeb4.0に関する戦略の実施に貢献する上で、このパイロット・プロジェクトは、仮想世界とWeb4.0のオープンで強固なグローバル・ガバナンスを促進し、Web4.0への技術的・制度的移行の双方に関連するインターネット技術とブロックチェーンの主な発展を探求することを目指す。 このパイロット・プロジェクトはまた、Web4.0に向けた技術的・制度的移行に関連するインターネット技術とブロックチェーンの主な発展を探求することに重点を置いている。 この徹底的な検討作業では、インターネット関連の新たな相互運用性システムや、権利管理、経済取引、ID管理など、仮想世界の機能を支えるその他の不可欠な要素といった問題を取り上げ、グローバル・ガバナンスの議論を含む欧州委員会の政策行動に情報を提供する。	European Commission https://digital-strategy.ec.europa.eu/en/funding/pilot-project-space-metaverses-virtual-world-and-transition-web-40

【メタバース】関連記事詳細（7/12）

番号	地域・国	情報記事・タイトル	発行日	要旨	情報源 (機関・団体名／URL)
12	オーストラリア	AnimaccordとCrypto Global Unitedがデジタル・エンターテインメントの未来を形作るために提携	2024/02/12	世界的にヒットしたファミリー向けアニメ「マーシャと熊」の制作会社Animaccordは、デジタルエンターテインメントの世界を再定義し、MASHAVERSEとして知られるユニークなメタバース体験を創造する画期的なパートナーシップを発表。 Animaccordは、ブロックチェーン技術のリーダーであるCrypto Global United (CGU)との戦略的パートナーシップを発表し、ファンのエンゲージメントとデジタル体験に革命を起こすことを目的とした先駆的なジョイントベンチャーであるAnimaccord DTCを設立することに興奮している。 CGUは、Afford.CapitalやChronotechを含む業界のスペシャリストのコラボレーションであり、Web2およびWeb3ゲーム、Non-Fungible Token（NFTs）、没入型デジタル体験を特徴とし、すべてが愛される「マーシャと熊」ブランドを中心に複雑に織り込まれた、広大なメタバースを立ち上げることを目指している。	Crypto Global United https://cgu.io/blog/animaccord-and-cgu-partnership

【メタバース】関連記事詳細（8/12）

番号	地域・国	情報記事・タイトル	発行日	要旨	情報源 (機関・団体名／URL)
13	欧州	裁判所がメタバースでのNFTアート展示を支持	2024/02/15	バルセロナの第9商業裁判所は、3人の有名なカタルーニャ人作家の作品にインスパイアされたNFTの創作をめぐるMangoと著作権協会VEGAPとの訴訟において、Mango社に有利な判決を下した。VEGAPが起こしたこの訴訟は、無許可で作品を複製し著作権を侵害したとして、ファッション企業に対し137万ユーロの損害賠償を求めている。 2022年5月、Mangoブランドを所有するPunto Na SAは、ニューヨークの店舗落成式のためにビデオアーティストと暗号アーティストを雇い、デジタルアート作品を制作させた。彼らのインスピレーション源は、カタルーニャのアーティスト、ジョアン・ミロ、アントニ・タピエス、ミケル・バルセロの絵画で、これらの原画はMangoが所有している。 同社のプロジェクトは、新店舗を訪れた際のバーチャル体験を作り出すことを目的としていた。そのため、デジタルアセットは、NFTを代表する2つのマーケットプレイスであるDescentralandメタバースとOpenSeaプラットフォームの両方にアップロードされた。ただし、これらのアセットは購入、ダウンロード、複製はできず、落成式に出席する人々が見ることだけが目的だった。 その結果、VEGAP（Visual Entidad de Gestión de Artistas Plásticos）は、世界中の15万人以上の著作者を代表するスペインの知的財産権管理団体であるが、問題の作品の複製と公の伝達について認可を得ていないとしてMangoを提訴した。 重要な争点は、原画の所有者であるMangoグループの権利範囲を決定することであった。言い換えれば、物理的な芸術作品のNFTへの変形が、著作者の権利に影響を及ぼす可能性のある作品の改変にあたるのか、それとも逆に、物理的な作品の所有権がNFTに変形する権利を与えるのか、ということである。このケースでは、絵画の原画を取得することによって、Mangoがいかなる状況においても絶対的な使用权と利用権を取得したかどうか、また、著作者の許諾を必要とせず、著作物の使用が無害とみなされるかどうか問題となった。 慎重に検討した結果、バルセロナの裁判所は、新たな要素を加えることなく作品を複製するような直接的な複製ではなく、オリジナル作品の変形であると結論づけた。これらの作品は、同社が雇ったクリプト・アーティストによって改変され、オリジナルとは異なる、独自のオリジナリティを持つ新たな芸術作品が生まれ出された。これらは本質的に原画を修正・変形した新たな作品であるため、ミロ、タピエス、バルセロの各画家とその相続人の権利は侵害されていない。さらに裁判所は、購入した絵画を原画家の許可を得ることなく展示するMangoの権利を認めた。	European Commission https://intellectual-property-helpdesk.ec.europa.eu/newsevents/news/mango-prevails-court-supports-nft-art-exhibition-metavers-e-general-court-upholds-yannick-noahs-tm-2024-02-15_en

【メタバース】関連記事詳細（9/12）

番号	地域・国	情報記事・タイトル	発行日	要旨	情報源 (機関・団体名／URL)
14	ベルギー	INATBA、AIとブロックチェーンの融合タスクフォースの立ち上げを発表	2024/02/26	International Association for Trusted Blockchain Applications (INATBA)は、AI & Blockchain Convergences Task Forceの発足を発表した。マリアナ・デ・ラ・ロッシュ（Validvent、INATBA理事）とセバスチャン・ベッカー（thebrainbehind、INATBA理事）のリーダーシップの下、タスクフォースはAIとブロックチェーンの統合によってもたらされる課題と機会に体系的に取り組むことに専念する。 戦略的な洞察と実行可能な提言を生み出すことで、タスクフォースは、統合を強化し、セキュリティを強化し、これらの変革的技術の倫理的な展開を提唱することを目指している。AIとブロックチェーンの融合タスクフォースは、理解、倫理基準、先見性のあるイノベーションを支持する。 2024年2月から12月までの11ヶ月間、タスクフォースはイノベーションとコラボレーションの追求において重要なマイルストーンの達成に専念する。その戦略的アジェンダは、包括的な報告書の作成、ポジション・ステートメントの策定、戦略と政策提言の策定、ウェビナーやイベントの開催、AIとブロックチェーン技術の統合を実証する実際の使用事例の集約など、極めて重要な取り組みを包含している。 タスクフォースには、AML Incubator、Caisse de Dépôts、欧州委員会、フラウンホーファー研究機構、富士通、HTWベルリン（応用科学大学）、Kunfud、Lexia Avvocati、リヒテンシュタイン政府金融市場イノベーション&デジタル化局、クイニピアック経営大学院、スロベニア共和国経済開発技術省、thebrainbehind [tbb¥*]、thinkBLOCKtank、国連共同職員年金基金、ファン・カルロス王大学、パヴィア大学、Cheqd、西アッティカ大学、Validvent、Vechain、世界貿易機関といった著名な組織や機関が参加している。	International Association for Trusted Blockchain Applications (INATBA) https://inatba.org/press-release/inatba-announce-s-launch-of-ai-blockchain-convergences-task-force/

【メタバース】関連記事詳細（10/12）

番号	地域・国	情報記事・タイトル	発行日	要旨	情報源 (機関・団体名／URL)	
15	中国	上海で524億元の主要産業チェーンプロジェクトが締結	2024/03/30	グローバル投資誘致会議が29日、上海で開催され、総額524億元（74億米ドル）相当の21の重点産業チェーンプロジェクトが締結された。 上海に紹介されたこれらのプロジェクトは、集積回路、生物医学、人工知能の3大主要産業だけでなく、新エネルギーやエネルギー貯蔵設備、民間航空などの細分化された分野にも関わっている。 上海グローバル投資促進会議2024では、大型モデル、ヒューマノイドロボット、メタバース、大型客船、商業航空宇宙、新素材、水素エネルギーなど10の重点産業チェーンプロジェクトにおける細分化された投資機会が発表された。 会議では政策パッケージも発表され、企業のコストを1000億元引き下げ、2兆元の投融資信用を追加し、1000億元の産業投資ファンドを設立することなどが盛り込まれた。 上海は、世界が中国を観察する重要な窓である。2023年、上海で実際に使用されている外国直接投資は過去最高の240億米ドル以上に達した。 今年1月末までに、上海の多国籍企業の地域本部と外資系研究開発センターの数はそれぞれ962と563に達した。	中国政府	https://english.www.gov.cn/news/202403/30/content_WS66074d1ac6d0868f4e8e599c.html
16	イギリス	Cainvest、世界有数の暗号取引所OKXとの戦略的提携を発表	2024/04/03	国際市場と国内市場の両方で豊富な経験を持つ有名な金融機関であるCainvestは本日、世界有数のWeb3テクノロジー企業であり暗号取引所であるOKXとの戦略的パートナーシップを発表した。 ブラジルの機関投資家向け暗号市場において最大級の流動性プロバイダーとして認知されているCainvestとOKXの提携は、デジタル資産分野における主要プレーヤーとしての地位を確固たるものとし、OKXの5000万人を超えるユーザーに対し、ブラジル・レアル・トークンペアの流動性を強化し、両社の強みを生かしたより強固な取引体験を提供する。	Cainvest	https://www.news-wire.com/news/cainvest-announce-strategic-partnership-with-leading-global-crypto-22287178

【メタバース】関連記事詳細（11/12）

番号	地域・国	情報記事・タイトル	発行日	要旨	情報源 (機関・団体名／URL)	
17	中国	中国、中関村フォーラムで主要な科学技術成果を発表へ	2024/04/17	中国科学技術部の関係者は17日、2024年に開催される中関村フォーラム（ZGCフォーラム）で、人工知能（AI）、生命科学、新素材などの最先端分野に焦点を当て、中国の主要な科学技術成果を発表すると述べた。科学技術省の陳家昌副大臣は北京での記者会見でこのように発言し、フォーラムでは40以上の国と地域から3000以上の科学技術成果を集めた貿易・協力プラットフォームも設立されると指摘した。 4月25日から29日まで北京で開催される今年のZGCフォーラムでは、国際的な科学技術組織、科学者、革新的な企業、投資家を招待することで、中国の開放と協力の取り組みが強調されると陳氏は述べた。 2007年に設立された同フォーラムは、イノベーションと発展に永続的な焦点を当て、長年にわたって国家レベルのオープンイノベーションプラットフォームと国際フォーラムへと発展してきた。 「イノベーション：より良い世界の構築」をテーマとする今年は、フォーラムや会議、技術取引、成果発表、最先端分野のコンペティションなど、5つの主要セクションで構成される。 今年は最大120のイベントが予定されており、ノーベル賞受賞者を含む一流の科学者を招待し、オープンイノベーションについて議論し、相互発展の機会を探る。 中国共産党北京市委員会常務委員の余英傑氏によると、2024年ZGCフォーラムは19の国際組織と外国政府部門を招待し、17の並行フォーラムを開催する予定だという。量子情報、光子コンピューティング、メタバースなどの分野をカバーする最先端分野のコンテストには、75の国と地域から3,100を超えるエントリーが集まっている。 4月27日から29日にかけては、2024年ZGCフォーラムの並行サブフォーラムである第8回中国SF大会が開催され、SF領域の技術、創造、産業発展に焦点が当てられる。 北京北西部に位置する中関村には、17,000社以上の国家級ハイテク企業が集まっている。中国初の国家ハイテク産業開発区であり、"中国のシリコンバレー"として知られている。 2023年の中関村の主要企業の総収入は8.6兆元（約1.2兆米ドル）に達すると予想され、全国178のハイテク区の総収入の約16.7%を占めると余氏は述べた。	中国政府	https://english.www.gov.cn/news/202404/17/content_WS661f8828c6d0868f4e8e62ae.html

【メタバース】関連記事詳細（12/12）

番号	地域・国	情報記事・タイトル	発行日	要旨	情報源 （機関・団体名／URL）
18	アメリカ	予測分析がサーバーレス・クラウドサービスと自己適応型AIシステムの未来をどのように形成するかに関する新しい研究論文を発表	2024/04/29	タム・グエン氏は、Elsevier Publicationsに新しい研究論文「サーバーレス・コンピューティング・クラウドにおける時系列のディープラーニングによる全体的なコールドスタート管理」を発表した。 グエンの論文は、Future Generation Computer System誌（トップクラスのコンピューター・サイエンス専門誌）に掲載され、AIシステムは重要だが相反するさまざまなタスクや目標を管理しなければならないという大きな課題に対する解決策を提示している。予測分析を活用することで、賢いAIエージェントが協力して衝突を解決する時間を増やすのだ。グエン氏はまた、企業がコールドスタート問題にどの程度対処できるかをテストする新しい方法も紹介している。 さらに詳しく説明すると、グエンが提案する新しい2本柱のコールドスタート管理ポリシーは、下位レベルのコールドスタート最適化を可能にする一方で、上位レベルのスマートAIエージェントとのフィードバックループを可能にする。主なポリシードライバーは、時間畳み込みネットワーク（TCN）ディープラーニングモデルであり、顧客の機能要求を5分から15分先まで予測することができる。この時間ウィンドウは、すべてのスマートエージェントが最適なシステム状態をプロアクティブに交渉するために不可欠である。マイクロソフトとアリババの実際のデータを使ったテストでは、このモデルがうまく機能することが示されている。	sciencedirect.com https://www.sciencedirect.com/science/article/abs/pii/S0167739X2300465X
19	アメリカ	モンゴメリーに8億ドルの次世代データセンター建設計画を発表	2024/05/02	ケイ・アイヴィー州知事は本日、テクノロジー企業のメタ・プラットフォームズ社がアラバマ州の州都に8億ドルのデータセンターを開設する計画を発表した。 メタ社の新しいデータセンターは、モンゴメリーの州間高速道路65号線沿い、ヒュンダイ自動車組立工場の向かいに建設される。このセンターは、ハンツビルにある同社のもうひとつのアラバマ州データセンター・キャンパスに加わることであり、15億ドルの投資コミットメントを意味する。 「毎日、世界中の何百万人もの人々がメタ社の製品を利用しており、モンゴメリーの次世代アラバマ・データセンターは間もなく、同社の人気プラットフォームを円滑に稼働させるのに役立つだろう」とアイヴィー知事は述べた。 カリフォルニア州メンローパークに本社を置くメタ社は、Facebook、Instagram、Threads、WhatsAppなどの製品やサービスを運営している。メタ社のデータセンターは、これらの技術やサービスを実現するグローバル・インフラの重要な一部である。 モンゴメリーデータセンターは、メタ社の最新設計を反映したもので、同社の24番目のデータハブとなり、米国内では20番目となる。運用開始後は、米国グリーンビルディング協会のLEEDゴールド認証を受ける。100%再生可能エネルギーでサポートされ、ネット・ゼロ・エミッションを達成する。	アラバマ州知事webサイト https://governor.alabama.gov/newsroom/2024/05/governor-ivey-announces-meta-plans-to-build-800-million-next-generation-data-center-in-montgomery/



海外標準化動向調査(12月)

令和6年度エネルギー需給構造高度化基準認証推進事業費(我が国の国際標準化戦略を強化するための体制構築)
2024年12月1日

一般財団法人日本規格協会

ピックアップ：メタバース（関連ニュース番号9・14）



トピック	Web 4.0と仮想世界のガバナンスの形成
推進組織	European Commission
内容	ポイント
	このデータ収集の結果は、欧州委員会と2025年のEU議長国ポーランドが共同開催する「ハイレベル・グローバル・マルチステークホルダー会議：Web 4.0と仮想世界のガバナンス」に反映される。
	背景
	2024年7月11日欧州委員会がウェブ4.0と仮想世界をリードするEU戦略を発表。デジタル・ディケイド政策プログラムの2030年目標と、デジタル化の3つの主要な柱であるスキル、ビジネス、公共サービスに沿ったものである。4つ目の柱であるインフラについては、欧州委員会の接続パッケージと、コンピューティング、クラウド、エッジキャパシティに関するより広範な取り組みによって対応している。
	概要
	- 欧州委員会は、「ウェブ4.0と仮想世界に関する戦略」のアクション9の一環として、パイロットプロジェクト「メタバースのための空間 - 仮想世界とウェブ4.0への移行」を開始した。このプロジェクトでは、ウェブ4.0と仮想世界に関連するインターネット技術の発展を評価し、ウェブ4.0と仮想世界のガバナンスに関するグローバルな対話の基盤を構築する。 「ウェブ4.0と仮想世界に関する戦略」で、欧州委員会は、技術的およびコンテンツ的な性質を持つ広範な問題について、マルチステークホルダー・コミュニティと国際的に関与する必要性を認めた。また、この技術的変化は新たなガバナンスの形態を伴う可能性があり、現行のインターネットガバナンス機関の権限や、他の（既存または今後設立される）機関が関与すべきかどうかについて検討する必要があることを強調した。 - このプロジェクトでは、Web 4.0の概念、Web 4.0への移行の技術的側面、Web 4.0と仮想世界のガバナンス原則の3つのセクションに分かれたフォームから専門家の情報を収集している。 - フォームから収集された結果は、仮想世界およびウェブ4.0のガバナンスに関する指針の策定に役立てられる。 - 草案は、欧州委員会とポーランド議長国が2025年3月31日～4月1日に主催するグローバルかつマルチステークホルダーのハイレベル会議「ウェブ4.0および仮想世界のガバナンス」で議論される予定である。

出所: European Commissionページ(<https://digital-strategy.ec.europa.eu/en/events/shaping-governance-web-40-and-virtual-worlds>)など公開情報等に基づきJSAグループ作成

【メタバース】関連記事詳細（1/9）

番号	地域・国	情報記事・タイトル	発行日	要旨	情報源 (機関・団体名／URL)
1	国際	IEC/TC100/WG12 (メタバース用のマルチメディアシステムおよび機器)	2024/10/28	TC100（オーディオ、ビデオ、マルチメディアシステムおよび機器）では、消費者向けおよびプロフェッショナル向け機器の性能仕様、測定方法、システムへの適用、および他のシステムまたは機器との相互運用性に関する規格開発が行われており、日本が事務局を務め、Pメンバー22か国、Oメンバー25か国。日本の国内審議団体は、一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）が務めている。 2022年10月のTC100総会において、TC100におけるメタバースに関する規格開発を検討するために、TC100直下にワーキンググループWG12（メタバース用のマルチメディアシステムおよび機器）が設立された。5月の岡山での会合において第1回のWG12会合が開催され、IEC、ISO、JTC1、ITU-TおよびCTAならびにMetaverse Standards Forumでのメタバース関連の動向の紹介の後、WG12での今後の活動内容が議論された。議論の結果、メタバースの定義・分類を検討するためのPWI（Preliminary Work Item）およびメタバースシステム・機器に関する標準化の観点からのギャップ分析を行うPWIの設立が合意された。 IEEE2048 VR/AR Working Groupでは、VR/ARに関するワーキンググループとして規格の開発が行われている。 IEEE 3812.1-2023「メタバースのアイデンティティフレームワークの一般要件に関する IEEE 標準」	IEC https://www.iec.ch/dyn/www/f?p=103:14:607170777621143:::FSP_ORG_ID,FSP_LANG_ID:42313,25
2	中国	技術基準向上のための行動計画	2024/05/30	中国は、人工知能チップ、生成AI、量子情報、ブレイン・コンピュータ・インターフェースなど、さまざまな最先端技術の基準強化に向けた3か年行動計画を発表した。技術的・経済的発展をより推進し、国際的な影響力を高めることを目指している。この計画は、中央サイバーセキュリティ委員会事務局、国家市場監督管理総局、工業情報化省が2024/05/29に一般公開した。 同委員会事務局のニュースリリースによると、この行動計画では、情報化（またはシステムを通じた情報の流れ）の標準化は国家標準システムにおける重要なパートであり、高品質な発展を推進するための重要なサポートとなることが強調されている。 例えば、重要な情報技術の分野では、集積回路の主要分野に焦点を当て、先進的なコンピューティングチップや新しいストレージチップの標準開発に向けた取り組みを強化し、AI、自動車、家電チップの応用標準の策定を推進することが求められている。 さらに、生成AI、ブロックチェーン、クラウドコンピューティング、量子情報、ブレイン・コンピュータ・インターフェース、次世代インターネット、メタバースといった一連の先端技術も、標準化に向けた取り組みの優先事項となっている。	中国政府 https://english.www.gov.cn/news/202405/30/content_W56657d8dcc6d0868f4e8e7a18.html

【メタバース】関連記事詳細（2/9）

番号	地域・国	情報記事・タイトル	発行日	要旨	情報源 （機関・団体名／URL）
3	アメリカ	The Metaverse Standards Forum、体積メディア相互運用性ドメイン作業部会を発足	2024/06/10	The Metaverse Standards Forumは、立体音響メディアサービスの採用を妨げる相互運用性の問題に対処するため、専用の立体音響メディア相互運用性（VMI）ドメイン作業部会を設立した。最近設立されたこの作業部会は、複数のSDO（標準開発機関）や業界フォーラム間の議論を促進するためのプラットフォームの構築を目指している。異なるシステム間の具体的な相互運用性の問題を特定し、解決するための取り組みを行う予定である。容積メディアが主流となるためには、多くのパズルのピースが揃う必要がある。業界は独自ソリューションに取り組むよりも、協力して取り組む方がより多くの成果を得られるだろう。容積メディア相互運用ワーキンググループは、2024年6月13日午前7時（太平洋標準時）にキックオフし目標達成に向けた今後の計画について共有する予定である。	The Metaverse Standards Forum https://metaverse-standards.org/news/blog/metaverse-standards-forum-launches-volumetric-media-interoperability-domain-working-group/
4	欧州	第1回国連仮想世界デーがシティアースに関する国際的な取り組みを開始	2024/06/14	持続可能な開発を支援し、都市生活を向上させるための仮想世界に関する世界的な取り組みが、本日、ITU スイス・ジュネーブのITU本部で開催された第1回国連仮想世界デーで発表された。 この「 仮想世界に関するグローバルイニシアティブ - Discovering the CitiVerse 」は、都市計画、教育、自治体サービスなどの分野における都市のメタバースソリューションのガバナンスを導くための規範と原則を定義する。 国際電気通信連合（ITU）、国連国際コンピューティングセンター（UNICC）、デジタル・ドバイが主導するこのイニシアティブは、都市の能力開発を推進し、ベストプラクティスの共有を促進し、都市が仮想世界のシナリオをシミュレーションするためのサンドボックス環境を開発する。 「仮想世界におけるグローバルイニシアティブ - Discovering the CitiVerse」の立ち上げは、仮想世界とメタバースがSDGsと関連していることについて、デジタル技術に関する国連機関である国際電気通信連合（ITU）が国連の17のパートナー機関とともに作成した新しい 国連エグゼクティブブリーフィング と並行して行われる。また、国連エグゼクティブ・ブリーフィングでは、仮想世界のメリットを十分に実現するために取り組むべき必須の要素、すなわち、責任ある技術ガバナンス、倫理的配慮、プライバシーとセキュリティの懸念などを強調している。	https://www.itu.int/en/mediacentre/Pages/PR-2024-06-14-first-UN-Virtual-Worlds-Day.aspx

【メタバース】関連記事詳細（3/9）

番号	地域・国	情報記事・タイトル	発行日	要旨	情報源 (機関・団体名／URL)
5	中国	メタバース産業に関する2024年の徹底的な市場分析と開発見通しに関する調査報告書	2024/6/21	智研コンサルティングの専門家チームは、企業が市場を理解し、発展させ、戦略的方向性を策定する上で貴重な参考資料となる「 2024年グローバルおよび中国メタバース市場の現状と将来動向に関する報告書 」（以下「報告書」という）を発表した。報告書は、国家経済と産業発展のマクロ戦略的観点から出発し、メタバース産業の将来の市場動向を徹底的に分析し、産業発展の潜在力を正確に探り、メタバース産業の将来の見通しを判断している。 本レポートは、基礎情報、グローバルなメタバースの発展、中国のメタバースの発展状況、メタバースのコア技術、メタバースの典型的な応用シナリオ、メタバース産業の投資機会、メタバース産業の将来動向の7つの章で構成されている。メタバースの市場規模や投資・融資などのコアデータもカバーしている。 本レポートのデータはすべて、公式機関や業界団体からの公開情報、および綿密な調査によるものであり、慎重に検証およびクロスチェックが行われているため、業界に正確で信頼性が高く、価値のある情報を提供できる。	湖南省 https://www.sohu.com/a/787429284120956920
6	韓国	仮想融合産業育成のための法令が本格施行	2024/8/19	「仮想融合産業振興法」は、仮想融合産業(メタバース産業)を振興するために独立した法律が必要であるという共感に基づき、今年2月28日に世界初制定され、8月28日の施行を控えている。同法は、多様な技術・産業と融合する仮想融合産業の特性を考慮し、さらに△体系的な振興政策の推進と △新産業の特性を考慮した自律規制環境の造成、そして△先制的な規制改善のための臨時基準制度の構築などのために制定された。 本日、国務会議で議決された「仮想融合産業振興法施行令案」は、同法のフォローアップ措置として、メタバース企業現場懇談会、産・学・研専門家の意見収集など7回の会議を通じて詳細な内容を策定し、関係機関協議(5.28～6.7、7.25～7.31)、立法予告(5.28～7.8、7.31～8.2)などを経て確定された。 同法と施行令で規定された ①仮想融合産業振興基本計画の策定、②産業現況と規制改善課題の発掘のための実態調査実施、③専門人材の養成、④地域別の仮想融合産業支援センターの指定など各種政策を通じて、仮想融合産業の体系的な振興のための推進体制と基盤が構築されることが期待される。	韓国政府 https://www.msit.go.kr/bbs/view.do?sCode=user&mId=113&mPid=238&pageIndex=&bbsSeqNo=94&nttSeqNo=3184828&searchOpt=ALL&searchTx

【メタバース】関連記事詳細（4/9）

番号	地域・国	情報記事・タイトル	発行日	要旨	情報源 (機関・団体名／URL)
7	アメリカ	MedXRSI、Journal of Medical Extended Reality (JMedXR) との戦略的パートナーシップを発表	2024/8/30	MedXRSIは、医療XRの研究とイノベーションの最前線に立つMary Ann Leibert Inc.が発行する主要誌、Journal of Medical Extended Reality (JMedXR) との重要なパートナーシップ締結を発表できることを嬉しく思う。MedXRSIは、医療XR諮問委員会の主催者でもあり、新興技術および没入型技術における世界有数の標準開発組織であるX Reality Safety Intelligence (XRSI) の重要なプログラムである。この提携は、医療分野における没入型技術の安全性、セキュリティ、プライバシー、倫理、および全体的な有効性を向上させる上で画期的な出来事である。 このコラボレーションの一環として、JMedXRは12月10日から15日まで開催されるメタバース・セーフティ・ウィーク（MSW）2024に積極的に参加する。「変化を受け入れる」をテーマに掲げた今年のキャンペーンでは、新興技術における安全で責任ある実践が推進される。JMedXRは、2024年12月11日の「没入型ヘルスケア」の日のパートとして、オープンシステムにおけるイノベーションと共有責任のバランスに焦点を当てた議論に参加する。	MedXRSI https://xrsi.org/medxrsi-announce-strategic-partnership-with-the-journal-of-medical-extended-reality-jmedxr
8	欧州	技術標準の優先事項に関する世界会議を開催	2024/9/10	政策立案者や業界リーダーが、産業の成長、革新、新技術への信頼を支える国際標準化の優先事項について検討するITUの世界電気通信標準化総会（WTSA）が、10月15日から24日まで、ニューデリーのプラガティ・マイダン会議・展示センターで開催される。4年ごとに開催されるWTSAは、国連のデジタル技術関連機関であるITUの標準化作業を統括する会議である。 会議は10月14日の世界標準の日に開始され、ITUグローバル・スタンダード・シンポジウム（GSS）では、人工知能（AI）やメタバースから安全なデジタル金融やスマートシティに至る分野におけるイノベーションが探求される。 GSS-24もニューデリーのプラガティ・マイダンで開催され、大臣や業界幹部が参加するハイレベルセグメントでは、デジタル変革の野望と関連する標準化の要求について議論される。	ITU https://www.itu.int/en/mediacentre/Pages/PR-2024-09-10-wtsa-India.aspx

【メタバース】関連記事詳細（5/9）

番号	地域・国	情報記事・タイトル	発行日	要旨	情報源 (機関・団体名／URL)
9	欧州	Web 4.0 と仮想世界のガバナンスに関するグローバル マルチステークホルダー・ハイレベル カンファレンス	2024/9/11	2025年の欧州連合理事会議議長国であるポーランドと欧州委員会は、このテーマに関するグローバルな議論を開始するために、ウェブ4.0と仮想世界に関する初のグローバル・マルチステークホルダー・ハイレベル会議を主催する。 この会議の目的は、デジタル空間の力学に対応し、透明性、包括性、説明責任を確保したウェブ4.0と仮想世界のグローバルなガバナンス枠組みの基礎となる原則を定義することである。 このイベントは、2025年3月31日と4月1日にブリュッセルのシャルルマーニュビルで開催される。 この会議には、学者、政策立案者、技術者、コミュニティリーダーが参加する。彼らは協力し合い、バーチャルワールドのガバナンスに関する解決策を提案し、さまざまなセクターからの参加者の間でコラボレーションと知識共有を促進する。 ウェブ4.0と仮想世界は、次なる技術的フロンティアである。これらは、今日私たちが知るインターネットに根本的な影響を及ぼし、適応性があり、将来に備え、単一のステークホルダーグループに支配されない、先を見越したガバナンスのアプローチを必要とする。 特に、倫理的価値観に基づくWeb 4.0への移行に関する政策対話、および仮想世界に関連する標準化問題（インターネット標準を含む）とその技術的管理に焦点を当てる。また、インターネットガバナンスのマルチステークホルダーモデルにアプローチを一致させる必要性についても取り上げる。	European Commission https://digital-strategy.ec.europa.eu/en/events/global-multistakeholder-high-level-conference-governance-web-40-and-virtual-worlds

【メタバース】関連記事詳細（6/9）

番号	地域・国	情報記事・タイトル	発行日	要旨	情報源 (機関・団体名／URL)
10	国際	人工知能時代のサイバーセキュリティとプライバシーリスクの管理新プログラムの立ち上げ	2024/9/19	NIST AIリスク管理フレームワーク（AI RMF） は、AIに関連する個人、組織、社会への利益とリスクを管理するために開発されたもので、安全性から透明性や説明責任の欠如に至るまで、幅広いリスクをカバーしている。 このプログラムは、NISTの既存の専門知識、研究、および以下の出版物などを基盤として構築される。 ・生成AIおよびデュアルユース基礎モデルのためのセキュアなソフトウェア開発手法：SSDFコミュニティプロファイル（NIST SP 218A） ・敵対的機械学習：攻撃と緩和策の分類と用語（NIST AI 100-2） ・AI時代のプライバシー保護：差分プライバシー保証の評価に関するガイドライン（NIST SP 800-226）草案 ・NICEサイバーセキュリティ人材フレームワーク（NICEフレームワーク）の一部として、AIのセキュリティがコンピテンシー分野として最近導入された ・Dioptraなどのツール - サイバーセキュリティを含む機械学習アルゴリズムの評価を、さまざまな条件下で容易にすることを目的としたテストプラットフォーム ・プライバシー強化技術（PETs）を調査し、プライバシー攻撃から機械学習モデルを保護するなど、特定のユースケースに対するそれぞれの適合性を評価する能力を提供するPETsテストベッド。 このプログラムは、AIの進歩がサイバーセキュリティやプライバシーリスクにどのような影響を与えるかを理解し、既存の枠組みや指針に必要な適応を特定し、既存のリソースのギャップを埋めることを目的としている。このプログラムは、産業界、政府、学术界の関係者と協力し、AIエコシステムの安全性を確保するための米国および国際的な取り組みにおいて主導的な役割を果たす。また、AI関連のサイバーセキュリティおよびプライバシーの課題と機会に対処するための包括的なアプローチを確保するために、必要に応じて他のNISTプログラム、連邦政府機関、商業組織と連携する。	NIST https://www.nist.gov/blogs/cybersecurity-insights/managing-cybersecurity-and-privacy-risks-age-artificial-intelligence

【メタバース】関連記事詳細（7/9）

番号	地域・国	情報記事・タイトル	発行日	要旨	情報源 (機関・団体名／URL)
11	欧州	生成AIおよび仮想世界における競争に関する政策文書を発表	2024/9/20	欧州委員会は、2024年1月に開始した2件の寄稿募集を受け、生成AIと仮想世界における競争に関する政策ノートを発表した。 寄稿募集の目的は、これらの変革的技術が欧州の競争に与える潜在的な影響をよりよく理解し、市民と企業の双方が価格とイノベーションの面で潜在的な利点の恩恵を受けられるようにすることであった。 このポリシーペーパーは、寄稿を踏まえてスタッフが起草したもので、これらの分野における市場力学、新たなトレンド、参入障壁を検証し、起こりうる損害理論や効率性の向上など、事例を分析するための予備的な枠組みの要素を提案している。特に、起こりうる反競争的問題の種類と、競争法執行や合併規制、デジタル市場法など、それに対処するための可能な手段について考察している。 このような技術の破壊的な性質と、それらがもたらす可能性のあるリスクを考慮し、欧州委員会は、AIおよびバーチャルワールドの分野を積極的に監視し、これらの新市場が競争的で、競争可能かつ公正であり続けるよう、あらゆる手段を駆使していく所存である。本日のスタッフの政策文書は、この点に関する欧州委員会の立場を反映したものではない。 この政策文書は、2024年1月に開始された2回の提出要請、2024年6月に開催されたワークショップ、主要な利害関係者との面談、並行して行われた市場調査を受けたものである。また、寄書募集に応じて寄せられた 寄書とワークショップの記録も、本日、政策文書とともに公表された。	European Commission https://digital-strategy.ec.europa.eu/en/news/commission-publishes-policy-brief-competition-generative-ai-and-virtual-worlds

【メタバース】関連記事詳細（8/9）

番号	地域・国	情報記事・タイトル	発行日	要旨	情報源 (機関・団体名／URL)
12	国際	Meta Connect 2024	2024/9/26	9月25日（米国時間）に開催した第11回目となるMeta Connectにおいて、Meta創業者兼CEOのマーク・ザッカーバーグは、複合現実（MR）、AI、ウェアラブルの分野における最新のニュースや開発状況について共有した。Metaは、メタバースにフォトリアルな空間を取り入れようと取り組んでいる。物理的にそこにいるように見えたり、感じたりすることができる空間で、より深くつながることができる新しい方法「Hyperscape」を可能にする。 Meta Quest 3S、スマートグラス等を含む商品開発の最新の進捗を共有した。	Meta https://about.fb.com/ja/news/2024/09/connect-2024-keynote-recap-quest-3s-llama-3-2-ai-wearables-mixed-reality/
13	アジア	メタバースでASEANの観光地を探索	2024/9/27	東南アジア諸国連合（ASEAN）は、東南アジアの魅力をRobloxの世界に再現したスリリングな新しい冒険をスタートする。 世界観光の日デビューするこの統合体験は、プレイヤーに東南アジアの活気あふれる文化と多様性をこれまで以上に探索し、体験してもらうことを目的としている。デジタルの境界を越え、没入感のある旅を提供する。 #ImaginASEANのグレート・メタバース・ハントは、単なるゲームではなく、東南アジアのユニークな文化の多様性を探索し、学び、祝うための招待状であり、この地域が真にあらゆる夢の目的地であることを示すものである。Roblox内のインタラクティブで没入感のある体験を通して、プレイヤーはブルネイ・ダルサラーム国、カンボジア、インドネシア、ラオス人民民主共和国、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、そしてベトナムの美しさを体験できる。 #ImaginASEANのGreat Metaverse Huntの主要な目的のひとつは、情報を楽しく、魅力的に提供することである。Robloxプラットフォームのインタラクティブな機能を活用することで、このゲームは東南アジア文化の学習を楽しい体験にすることを目指した。このミニゲームの課題やパズルは、楽しく学べるように設計されており、プレイヤーが楽しみながら東南アジアの文化遺産についてより深い理解を得られるようになっている。	ASEAN https://asean.org/exploring-southeast-asias-culture-in-the-metaverse-join-the-imaginasean-great-metaverse-hunt-in-roblox/

【メタバース】関連記事詳細 (9/9)

番号	地域・国	情報記事・タイトル	発行日	要旨	情報源 (機関・団体名／URL)	
14	欧州	Web 4.0と仮想世界のガバナンスの形成	2024/10/7	欧州委員会は、「 ウェブ4.0と仮想世界に関する戦略 」のアクション9の一環として、パイロットプロジェクト「メタバースのための空間 - 仮想世界とウェブ4.0への移行」を開始した。このプロジェクトでは、ウェブ4.0と仮想世界に関連するインターネット技術の発展を評価し、ウェブ4.0と仮想世界のガバナンスに関するグローバルな対話の基盤を構築する。 このデータ収集の結果は、欧州委員会と2025年のEU議長国ポーランドが共同開催する「ハイレベル・グローバル・マルチステークホルダー会議：Web 4.0と仮想世界のガバナンス」に反映される。このイベントは、Web 4.0と仮想世界のためのグローバルなガバナンス枠組みの基礎となる原則を定義することを目的としている。	European Commission	https://digital-strategy.ec.europa.eu/en/events/shaping-governance-web-40-and-virtual-worlds
15	欧州	新興メタバースに関する IEEE 国際シンポジウム	2024/10/15	IEEE Metaverse Initiative が主催する第1回IEEE国際シンポジウム「 新興メタバース (ISEMV 2024) 」では、学生、研究者、実務家、専門家、革新者の方々を歓迎し、現実世界とデジタル世界の融合の形成に貢献するよう呼びかけている。今年のテーマは「Navigating the Virtual Frontier（仮想フロンティアの航海）」である。ISEMV 2024は、10月21日（月）に米国シアトル近郊のベルビューで開催される 第23回IEEE国際複合・拡張現実シンポジウム (ISMAR) と同時開催される1日間の対面式イベントとなる。ISEMV 2024 は招待講演者、パネル、査読付き論文の口頭発表、ポスター発表、コンペティションで構成される。	IEEE	https://ieeismar.org/isemv-2024/